



<リーグ期間>

前期：4月から7月中旬まで  
後期：8月中旬から12月末まで

<運営方法>

- ・前期リーグ：抽選により全 22 チームを 11 チーム毎の 2 ブロックに分けて、ブロック内総当たりにより各チーム 10 試合を行う。(A ブロック、B ブロック)
- ・後期リーグ：前期リーグの結果から、上位 11 チーム、下位 11 チームに分けて(1 部リーグ、2 部リーグ)、前期と同様に各チーム 10 試合を行う。

<試合数>

- ・各チーム、前後期各 10 試合 (11 チームによる総当たり)、年間 20 試合とする。

<全日本大会への出場権>

- ・前期リーグ戦の 10 試合を実施したチームは、全日本 U-12 サッカー選手権大会愛知県大会への出場権を獲得する。

<シード>

- ・前期 10 試合の試合結果を反映させ、1~22 位の順位を決め全日本少年サッカー大会のシード枠に入れる。

<順位の決め方>

A ブロック、B ブロックのリーグ戦結果に基づき、各ブロックの順位に関わらず、以下の項目により前期リーグの 1~22 位を決定する。

①勝ち点 ②得失点 ③総得点 ④抽選 の順で順位決定する。

<リーグ成立条件>

コロナ禍等でリーグ戦期間が途中で中断した場合、予定試合の 70%消化でリーグ戦成立とする。(2 ブロック全 110 試合中 77 試合の実施)

また、試合消化が 70%未満の場合は、リーグ戦順位が確定しないため、全日本少年サッカー大会愛知県大会のシード枠は、県リーグ参加チームによる抽選で決定する。

指定期日内に実施できず未消化の試合があった場合、実施した試合の結果により順位を決定する。(大会運営側が認めた場合は除く、例えばコロナ禍での中断等)

<移籍>

他チームからの移籍選手は、KICKOFF により移籍申請をし、手続きが終了していれば、新たなエントリー表を久野リーグ戦担当に提出すれば次の試合から出場可能とする。(移行期間は設けない)

同一登録チームから複数チームが県リーグに参加する場合、A・B チーム間の選手の入替については、1 ヶ月間の移行期間を設ける。A チームから B チーム、あるいはその逆の場合でも、入替選手の登録・出場は、前回エントリー表提出日から 1 か月後とする。